

令和6年度 第2回

おおいたPPP/PFI地域プラットフォーム 主催：大分県 官民連携セミナー・官民対話

今回は、民間事業者の方がPFI事業参画に向けた実践力を養うために、また行政職員の方はPFI事業の実践スキルを高めるために、双方の知識習得・相互理解を目的とした「**公募資料の読み方**」をテーマに研修を行います。研修は、参加者が交流しながら理解を深めることができるよう、本プラットフォームでは**初の取組**となる「**グループワーク形式**」で進めます。また、**大分県**の事業告知、**中津市**、**佐伯市**の事業案件形成のクローズ型官民対話を実施します。なお、グループワークのため、今回は現地参加のみとなります。

※「おおいたPPP/PFI地域プラットフォーム」とは、県内のPPP/PFI事業を推進するため、民間事業者、金融機関、県内自治体等が一堂に会し、PPP/PFI事業に対する意識の醸成や基礎知識の習得、具体的な案件形成に向けた官民対話を継続的に展開する場として、令和元年11月に設置されたものです。

開催日時 令和6年11月18日（月）13:00～17:00（受付開始12:30）

会場 大分県庁新館14階 大会議室（大分市大手町3丁目1-1）
※県庁内の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関もしくは近隣のコインパーキングをご利用ください。

参加対象 民間事業者、金融機関、地方公共団体職員 等

現地定員 60名（先着順）※今回は現地参加のみでオンラインでの配信はございません。

第1部 研修・グループワーク 13:05～15:00

「公募資料の読み方実践講座」

横浜市が実際に実施した「横浜文化体育館再整備事業」の公募資料を題材に、複数のグループに分かれて、グループ内で簡単な意見交換等をしていただきます。

講師：株式会社日本経済研究所 公共デザイン本部PPP推進部 主任研究員 鳥生 真紗子 氏

第2部 事業告知 15:05～15:15 ※第2部以降の事業告知、官民対話のみに参加されたい方は途中入室が可能です

◇大分県 県有財産経営室◇

「（仮称）大分総合庁舎の新設について」

※第3部の官民対話に参加されない民間事業者の方、行政職員の方はここまでとなります

第3部 官民対話 15:20～17:00

クローズ型（個別）サウンディング

◇佐伯市◇「市街地グランドデザインにおける 文化芸術交流ゾーンの賑わい創出事業」

◇中津市◇「青の洞門周辺整備事業について」

申込方法	第1部のみ／第1部から第2部・第3部 に参加される方	第2部・第3部のみ参加される方
	九州PPPセンターHPより申し込み下さい。 https://kpppc.com/seminar/ 九州PPPセンターHP 	グーグルフォームより申し込み下さい。 https://x.gd/DgOnY 

※申込締切
令和6年11月11日
(月)17時

※参加を申込みいただいた方は、次回以降のおおいたPPP/PFI地域プラットフォームもご案内させていただきます。なお、ご提供いただく個人情報などは本プラットフォームにおける情報共有の範囲内で使用し、ご本人の承諾がない限り、その利用目的以外に使用することはありません。

＜お問合せ先＞（運営委託先）株式会社大銀経済経営研究所 河野、工藤

TEL：097-533-8111 FAX：097-533-6888 MAIL：kazuki_kudo@dkk-oita.co.jp

※ 株式会社産学連携機構九州 九州PPPセンターとは共同で運営しています。

「おおいたPPP/PFI地域プラットフォーム」事務局（大分県総務部県有財産経営室 担当：佐藤）

TEL：097-506-2975 MAIL：a11150@pref.oita.lg.jp

第1部 研修・グループワーク

公募資料の読み方実践講座

株式会社日本経済研究所 公共デザイン本部PPP推進部
主任研究員 鳥生 真紗子 氏

<研修内容>

PPP/PFI事業に取り組むにあたり、避けては通れないのが公募書類の読み込みです。多くの公表資料から、条件・要求水準を理解し、さらに発注者である行政の意図を読み取らなくてはなりません。

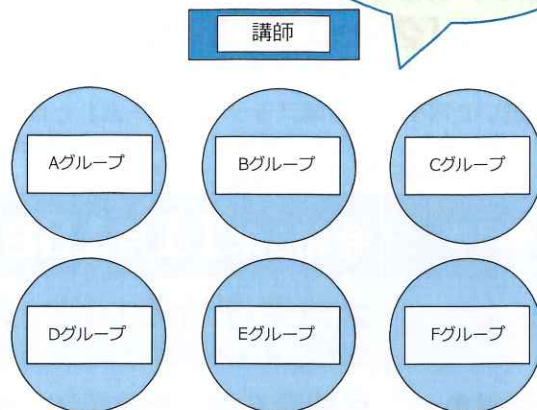
本講演ではPPP/PFI事業のアドバイザー経験豊富な日本経済研究所が、横浜市のPFI事業「横浜文化体育館再整備事業」の公募書類をわかりやすく解説します。

また、研修は解説に加えて民間事業者の方、行政職員の方を交えたグループワークを実施し、公募書類読み込みに対する理解をさらに深めます。

<講師経歴>

東京大学文学部行動文化学科社会学専修課程卒業、東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻修了後、株式会社日本経済研究所入社。2017年より現職。

<会場配置イメージ>



グループは民間事業者の方・行政職員の方を組み合わせ構成します

第2部 事業告知

大分県 県有財産経営室

「（仮称）大分総合庁舎の新設について」

大分県では、県庁舎別館にある中部振興局と、大分市向原西にある大分土木事務所を集約、大分市明野地区に移転し、新たな総合庁舎を建設する方針です。現在、新庁舎に係る建設や設計、維持管理業務等の整備手法について、PFI等の各種手法の導入可能性についての検討を行っているところです。今回は、10月実施のアンケート調査の内容をもとに現段階での概要をご説明します。



【建設予定地】

第3部 官民対話（クローズ型（団体ごと個別に実施））

※聴講のみのご参加は受け付けていません

お申込みいただいた会社・団体と自治体で個別に実施します。申込後、事務局から参加確認の連絡をさせていただきます。その後予定時間を個別にお知らせするとともに、事前に資料をお送りします。

佐伯市

「市街地グランドデザインにおける文化芸術交流ゾーンの賑わい創出事業」

市の中心部に位置する大手前エリアについて、文化芸術交流ゾーンとしての利便性や魅力の向上、賑わいの創出と市民活動の活性化を図るための事業展開や施設の維持管理等の手法について、民間事業者側からの柔軟な発想による提案や意見を広く求めます。



中津市

「青の洞門周辺整備事業について」

青の洞門や競秀峰の山国川対岸に駐車場や視点場等を市が整備する予定です。

この敷地の一部を民間事業者に貸し、建物を建てて事業を展開していただくことを検討しています。柔軟な発想による提案や意見を広く求めます。

